

■ やってみよう！2020 ～地域とともに協同（協働）する学校～ （老上西小学校）

1 【活動の趣旨】

「やってみよう！2020」を合言葉に、めざす学校像の一つとして『地域とともに協同（協働）する学校』を掲げ、「家庭や地域等のさまざまな力や資源が活かされる学校」「教育や子育てにかかわる課題とともに取り組む学校・家庭・地域」づくりを進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○栽培体験活動

1年生のさつまいも、2年生の大根、5年生の米などの作物を、農業合校やサポーターの方の協力を得ながら栽培した。栽培中は、適宜様子を観察し、成長を見守った。収穫したいもを、もみ殻を使って焼きいもにしたり、大根や米を家に持ち帰ったりして、収穫の喜びを感じることができた。



【1年生のいも掘り】

○学習支援

5・6年生の家庭科の学習で、裁縫や調理実習の支援をしていただいた。支援のサポーターは、学習ごとに募集し、参加いただける範囲で協力いただいた。サポーターの方には、検温や消毒をお願いして、感染症対策にも協力いただいた。4人に1人程度のサポーターについていただいたおかげで、きめ細かい支援を行うことができ、子どもたちは、実習に充実感を感じることができた。

○読書活動の推進

図書ボランティアや読み聞かせにたくさんの方の支援をいただいた。図書ボランティアは、本の貸し出しや整理、掲示物の作成など、子どもたちが本に親しめる環境づくりに貢献いただいている。

毎週火曜日の朝の学習の時間には、低学年を中心に実施していただいている読み聞かせを、子どもたちは大変楽しみにしていて、読み聞かせをきっかけとして読書の幅を広げることができた。

3 【実施に当たっての工夫】

年度当初に年間の活動計画を作成し、保護者や地域に配布・回覧している。「できるときに、できることを」を合言葉に、感染症対策を行いながら、今年度実施できることを精選し実行した。

4 【事業の成果】

- ・保護者、地域の方に活動が浸透し、サポーター同士の声かけによって、新たに参加していただく方が毎年度おられる。
- ・子どもたちが地域の方や保護者など様々な方々と関わり、触れ合うことができています。

5 【事業実施上の課題】

- ・新しいサポーターも増えたが、さらに周知・発信し、もっと多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。